



長岡の魅力満載 受賞作品を表彰

初のスマホ映画祭

「あなたしか知らない長岡の魅力」をテーマに、スマートフォンで撮影した短編映画を集めた「長岡スマホ映画祭」の表彰式が、長岡市大手通2のナテックベースで開かれた。長岡市希望が丘1の会社員安達裕さん(37)の「37歳会社員の場合」が最優秀賞に輝いた。表彰式はオンライン

長岡の魅力を題材に、スマートフォンで撮影した映像作品を集めた映画祭の表彰式＝長岡市大手通2

で中継され、参加者は映画制作の面白さとともに長岡の身近な魅力を再発見していた。

映画祭は、市内のアートディレクター高野宙さん(33)らが初めて企画した。それぞれが思う長岡の魅力

をテーマに、5分程度の短編作品を募集。寺泊の海岸や長岡藩と関わりの深い酒器「十分杯」など幅広い題材を扱った16点が、市内外から集まった。

14日に行われた式では、最優秀賞1点のほか、優秀賞、特別賞、観客賞に選ばれた計6作品が表彰され、各作品が上映された。

最優秀賞は、アオーレ長岡の敷地内にある城内稻荷神社を扱った作品。制作者は神社にあるガマガエルの

さい銭入れに愛着を感じており、有名ではなくとも、大切な長岡の魅力だとして紹介した。

実行委員代表を務めた高野さんは「ふと立ち寄ってみたくなるような、新たな魅力の発見につながった」と手応えを語る。今後も続編の映画祭を開催予定で「スマホ映画祭といえば長岡」と言ってもらえるよう、

「全国や世界に発信したい」とした。

作品は動画投稿サイトで見る事ができる。

「ユーチューブ」の「長岡スマホ映画祭」のチャンネルで見ることができる。